



編集後記

編集顧問	小川秋實	秋元成太	村井 勝
	郡健二郎	藤岡知昭	
編集委員	大家基嗣	近藤幸尋	小島祥敬

先日ロサンゼルスで開催された PSMA & Beyond Conference 2025 に参加してきました。ご承知の通り PSMA (Prostate Specific Membrane Antigen: 前立腺特異的膜抗原) は前立腺癌の 90% 以上で発現している膜タンパクで, Theranostics (治療 Therapeutics + 診断 Diagnostics の造語) の標的分子として注目されています。欧米を中心に, 前立腺癌の診断・治療に広く応用され, PSMA-PET を用いた画像診断や β 線放出核種ルテチウム-177 (^{177}Lu) を用いた PSMA 放射線内用療法が行われています。画像診断ではこれまで同定できなかった術後生化学的再発や転移巣を容易に同定できると言われていますし, 治療においては新規アンドロゲン受容体シグナル阻害薬 (ARSI) やタキサン系抗がん薬に抵抗性の転移巣が, 劇的に消失する症例も報告されています。わが国でも近い将来導入されることが噂されています。

本研究会では, PSMA 放射線内用療法の今後の展望として, 現在進行中の臨床研究や基礎研究も紹介していました。もともとは転移を有する去勢抵抗性前立腺癌 (mCRPC) に対する 2nd line, 3rd line の治療として報告されましたが, mCRPC に対する 1st line 治療, 去勢感受性前立腺癌に対する 1st line 治療, 限局性前立腺癌治療後の生化学的再発のみならず neoadjuvant や adjuvant 療法の臨床研究も進行中とのことです。また, ARSI, 免疫チェックポイント阻害薬 (ICI) との

併用療法に関する臨床研究, 臨床応用が始まっている α 線放出核種 ^{225}Ac や, ^{67}Cu , ^{161}Tb , ^{212}Pb などの核種を用いた次世代 PSMA 放射線内用療法に加えて, 開発中の PSMA 放射線抗体療法の講演もありました。

近年, 分子標的薬, ICI, 抗体薬物複合体など新しい薬剤が次々に開発され, 泌尿器がんの治療は劇的な変化を遂げました。しかしその一方で, これら新薬にもさまざまな問題点が指摘されているようです。コストの高い治療ですし, 印籠を振りかざすように捉えられがちなランダム化比較試験ですが, そのデザインや解釈の妥当性に問題があることも指摘されています。多くの有害事象に悩まされながら無増悪生存期間の数か月の延長が本当に患者さんの QOL に寄与しているのか。患者さんの病状は個々それぞれ異なる中で, 統計学的有意差が本当に意味のあることなのか。

本研究会の最終日の夜, 少し足を延ばしてドジャースタジアムを訪れ, ロサンゼルス・ドジャーズ vs デトロイト・タイガースの試合を見に行きました。先発は佐々木朗希投手, 1 番バッターは大谷翔平選手。日本人野球選手もメジャーリーグで大活躍するようになり, 私たち日本人に誇りと勇気を与えてくれました。薬物治療の劇的進歩は私たちに何をもたらしてくれるのか? 答えはまだまだ先にあるような気がします。

(小島祥敬)

臨床泌尿器科 (第 79 巻 第 7 号) (通巻 952 号)

2025 年 6 月 20 日発行 (毎月 1 回 20 日発行)

定価: 3,190 円 (本体 2,900 円 + 税 10%)

2025 年年間購読料
(増刊号を含む 13 冊, 税込, 送料小社負担)
冊子版 47,300 円
電子版 (個人) 43,824 円
電子 + 冊子版 (個人) 49,324 円

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5724

(担当: 上甲・今田)

販売・PR 部直通 (03) 3817-5650

E-mail: rinpi@igaku-shoin.co.jp

印刷所 ㈱双文社印刷

広告取扱 ㈱文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

別刷取扱 販売・PR 部 電話 (03) 3817-5696

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2025. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は株式会社医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** < 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構 (電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。

* 「臨床泌尿器科」は株式会社医学書院の登録商標です。